

守屋多々志作  
「ふるさとの家(朝餉)」



# 大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

### 大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし  
緑を広げ 安全に努め  
心を育て 助け合います

<インターネットURL>  
大垣市議会 検索

夏の市場開放（大垣市公設地方卸売市場 平成29年7月16日）



市場内の様子



親子せり体験



うなぎの蒲焼



鮎のつかみどり

## 第2回市議会定例会 平成29年度一般会計 補正予算などを可決

第2回市議会定例会を6月5日から19日までの日程で開催しました。

初日には大垣市農業委員会委員の任命についてを先議した後、市長から平成29年度一般会計補正予算などについて提案説明を受けました。

12日には11名の議員が市政運営に関する一般質問を行い(2・3面に掲載)、14日から16日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

19日の最終日には、各委員長から審査結果の報告を行い、市長提出議案7議案を原案どおり可決しました。また、議員提出議案として、「ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書」を可決し、閉会しました。

### 定例会日程

- 6月 5日 本会議（提案説明）
- 12日 本会議（一般質問）
- 14日 子育て支援日本一対策委員会
- 15日 建設環境委員会、経済産業委員会
- 16日 文教厚生委員会、企画総務委員会
- 19日 議会運営委員会、本会議

### 委員会構成

5月11日に開会された第2回臨時会において次のとおり決まりました。

議会三役		常任委員会	
議長	岩井 哲二	企画総務委員会	文教厚生委員会
副議長	横山 幸司	委員長 中田 ゆみこ	委員長 石田 仁
監査委員	関谷 和彦	副委員長 空 英明	副委員長 北野 ひとし
		委員 長谷川 つよし	委員 近 沢 正
		委員 田中 孝典	委員 関谷 和彦
		委員 川上 孝浩	委員 岡本 敏美
		委員 丸山 新吾	委員 岡田 まさあき
議会運営委員会		経済産業委員会	
委員長	田中 孝典	委員長	日比野 芳幸
副委員長	丸山 新吾	副委員長	粥川 加奈子
委員	中田 としや	委員	中田 としや
	空 英明		石川 まさと
	日比野 芳幸		林 新太郎
	岡本 敏美		
	高橋 滋		
特別委員会			
市民病院に関する委員会		子育て支援日本一対策委員会	
委員長	石川 まさと	委員長	川上 孝浩
副委員長	長谷川 つよし	副委員長	関谷 和彦
委員	空 英明	委員	笹田 トヨ子
	北野 ひとし		岡本 敏美
	岩井 哲二		丸山 新吾
	横山 幸司		

### 可決された主な議案

#### 補正予算【一般会計】

- ◇民間事業者が実施する障害者グループホーム整備事業について、国及び県に補助採択されるのに伴い、市単独補助金として300万円を計上。
  - ◇農作物への被害防止のため、シカの捕獲対策を強化する地域連携鳥獣捕獲委託料として100万円を計上。
  - ◇大垣城や上石津地域に点在する関ヶ原合戦に関連の深い観光資源について、県の補助採択に伴い、説明案内板等を設置するため、1500万円を計上。
- #### 条例
- ◇大垣市男女共同参画センター条例の制定  
スイトピアセンター学習館に大垣市男女共同参画センターを設置することに伴い、条例を制定するもの。
  - ◇大垣市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
家庭的保育事業等のサービスの更なる向上を図るため、市の独自基準を追加し、所要の改正を行うもの。

6月12日に  
一般質問を  
行いました

# 一般質問

## 郭町東西街区の再開発と大垣城

空 英明

**質問**…本年、大垣城が続100名城に選ばれた。大垣駅南都心まちなみビジョンでは、大垣駅から奥の細道むすびの地記念館までを回遊性のある歩行者空間とすることが提言された。そして郭町東西街区再開発は、建物の更新によるまちなかの再生及び都心居住促進と大垣城を生かしたにぎわいの創出を目的としている。進捗状況を伺う。

**答弁**…郭町東西街区の再開発の進捗状況は、昨年度、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行の事業化に向けた基本計画の策定や、地権者の意向調査を実施している。

整備方針は大垣城が駅通りから見えるよう、約2000㎡の広場を設けるとともに、駅通りの西側は、大垣城とまちなみの一体的な景観を創出するため、低層の建物とすることを検討している。地権者の意向を踏

まえ、事業化に向けた都市計画決定の手続きに着手していきたい。

歴史的文化資産である大垣城の魅力を最大限生かすとともに、にぎわいの創出と、都心居住の促進に努めていく。

続100名城に選ばれた大垣城



## 準要保護者への新入学準備金早期支給について

近沢 正

**質問**…本市では、準要保護者に対して支給する就学援助のうち、小中学校に進学する子どもがいる世帯に対して新入学児童生徒学用品費を支給している。現在、その支給時期が入学後、1学期末の7月となっており、困窮世帯にとって大きな負担となっている。早期支給について本市の考えを伺う。

**答弁**…本市では、新入学児童生徒学用品費として、準要保護者に対し新入学準備金を支給しており、本市を含め多くの自治体が、入学

した年度の1学期末に支給している。

入学前支給は、前年所得を確認することができないことや、支給後に準要保護者が市外へ転出した場合の対応などの課題があるが、小中学校への入学時には一時的に多額の費用が必要となることから、実施に向けて検討していく。

**情報公開について**  
岡田 まさあき

**質問**…新庁舎建設のための建設予定地や買収土地の不動産内容は非公開である。また、土地開発公社の借入金や利率、買収土地の不動産鑑定士・コンサル利用の有無も非公開である。市民の知る権利の保障と税金の適切な運営のため情報公開をすべきと考える。

**答弁**…本市では、大垣市情報公開条例に基づき、積極的な情報公開に努めているが、公開することにより支障が生じるおそれのある情報は、非公開としている。このため、用地買収のための土地鑑定評価額及び建物補償費等については、個人情報等に該当するので非公開となる。

大垣市土地開発公社の情報公開制度は、市に準じた運用がなされているものと認識しているが、市の条例

が適用されないため、公社による非公開の理由については市ではお答えできない。

## 休日保育などの多様な保育事業について

関谷 和彦

**質問**…保護者のさまざまな就労環境に応じた、特別な保育サービスである休日保育・病児保育の現状及び取り組みを伺う。

**答弁**…休日保育は、きど保育園において実施しており、平成28年度の利用人数は、延べ1075人である。

病児保育は、児玉レディースクリニックにおいて実施しており、平成28年度の利用人数は延べ205人である。市外で働く保護者がより職場に近い病児保育施設を利用できるよう、近隣市町と広域協定を結び、利便性の向上にも努めている。

ファミリーサポート事業は、保護者の仕事や病気などにより、子どもの世話ができない場合に預かる事業で、平成28年度の利用人数は延べ3937人である。

キッズピアおおがき子育て支援センターでの一時預かりの利用人数は、昨年10

月からの6か月間で延べ153人である。

子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てができるまちの実現に向け、保育ニーズを的確にとらえ、子育て支援策の一層の充実に努めていく。

病児保育の様子



## 学校給食費無償化について

中田 としや

**質問**…昨年、全国で55市町村が学校給食を無償で提供しているとの報道があった。憲法第26条「義務教育はこれを無償とする。」の趣旨をより広く実現するため、学校給食の負担軽減が必要と考える。本市においても、まずは第3子以降の給食費を無償化する等、負担軽減策を実施してはどうか。

**答弁**…本市の学校給食費は、学校給食法において、給食の実施に必要な施設及び設備、運営に要する経費以外の食材費などは保護者の負担と定められているこ

とから、給食費として負担いただいている。

無償化については、近年、一部自治体において無償化や一部補助等が行われているが、一方で、財政的な問題から、無償化を廃止した自治体もある。

本市では、生活保護世帯や、準要保護世帯に対して、給食費全額を支給するなど、経済的負担の軽減措置を行っているため、さらなる財政負担となる第3子の給食費無償化等の部分的な負担軽減策については、引き続き、国の動向を注視しながら研究していく。

## 教育行政について

中田 ゆみこ

**質問**…新しい時代に必要な資質能力の育成という観点から、アクティブ・ラーニングの取り組みが注目されている。本市のこの取り組みを伺う。

※講義形式の一方的な授業ではなく、児童生徒が調べ学習や体験学習、グループで話し合いながら理解を深めていく授業。

**答弁**…アクティブ・ラーニングは、次期学習指導要領で、主体的・対話的で深い学びのある授業として重視されている。講義形式の一方的な授業ではなく、児童生徒が異なる方法で学習したことを交流する授業や、ICT機器を活用するなどして、自分の考えを仲間と話

し合いながら深めていく授業などであり、これまで以上に充実するように取り組んでいかなければならないと考えている。

今年度からは授業改善プロジェクトの実施校として川並小学校、南中学校を指定し、市内全小中学校においてよりよい授業づくりを進めるための研修の場を設定している。来年度からは、市独自で全教員を対象にした研修の実施も予定している。

「大垣市公共施設等総合管理計画」について

石田 仁

質問…国のインフラ長寿命化基本計画策定以降、本市も推進本部を立ち上げ、本年度から本計画が10年計画でスタートした。大垣市民会館、大垣城ホール等、本市施設の管理計画は、既に検討されてきたことを踏まえ、10年間の予定を伺う。

また、郭町東西街区再開発等、今後の市長の施策推進を盛り込むお考えはないかお尋ねする。  
答弁…大垣市公共施設等総合管理計画は、厳しい財政状況の中、公共施設等の老朽化などに対応していくため、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な考え方を示すもので

あり、本年3月に策定した。この計画では、計画期間を10年とし将来の需要を見通した上で、公共施設等の集約、規模の縮小、廃止等の検討を進めるとともに、老朽化に伴う更新等を重視することから、新規整備の抑制に努めることとしている。このため、国のガイドライン等の情報収集を行い、平成32年度をめどに、施設毎の具体的な対応方針を定める個別施設計画の策定を進めている。

大垣市における地域公共交通網形成計画について

笹田 トヨ子

質問…高齢社会により、マイカーなしで移動できる公共交通網の整備が必要だ。平成31年度に大垣市公共交通網形成計画を策定するにあたり、①路線バスだけでなく自宅から目的地まで移動可能な総合交通政策であること②法定協議会だけでなく、地区ごとに市民交通会議を開催する等、市民の声を十分反映されたい。

答弁…本市の地域公共交通網形成計画の策定は、地域公共交通会議やアンケート調査、パブリックコメント等を通じて広く地域住民の意見を伺うとともに、マイレール、マイバス意識の醸成等による公共交通に関する普及啓発にも努めていく。

公共交通網の形成は、人口動態や地域の状況等に応じた適切な輸送力やダイヤの設定等を行い、利便性と効率性のバランスに配慮しながら持続可能性の向上を図る必要があるため、引き続き、交通事業者と連携して路線の維持・改善等を研究していく。

スポーツ・体育施設の改修改善について

田中 孝典

質問…市長は選挙を通じて未来志向を5期目の市政の基本とすると訴えられた。本市ではさまざまな全国・全県レベルのスポーツ大会が開かれると共に、市民のニーズも拡大・多様化している。アンテナを張り、常に未来を予測して迅速に体育施設の改修改善を進めていきたいと思います。市長の取り組みを伺う。

答弁…本市のスポーツ・体育施設は、総合体育館をはじめ、武道館、浅中公園グラウンドなど22の施設があり、年間約100万人の皆さんにご利用いただいている。これら施設の改修改善は、毎年、改修や修繕等の整備を行っている。実施した改修等は、平成27年度に北公園野球場等のトイレ洋式化工事等、平成28年度に市民プールの

プールサイド床改修工事等、平成29年度では、総合体育館の天井梁改修工事等を計画している。  
今後、県内においても、平成31年に日本スポーツマスターズが、平成32年にはねりんピックが開催され、本市も会場地となる予定である。このような全国規模のスポーツ大会の開催を見据えながら、スポーツ・体育施設の改修改善に努めていきたい。

改修予定の総合体育館



人事について

長谷川 つよし

質問…毎年行われる約200人の市職員の部署異動。これは転職と言ってもよく、蓄積された知見の断絶や人間関係の再構築、分野の知識習得等の非効率化を生み出していないか。市民から担当者がすぐに変わるとの不満を耳にする。異動の周期を見直し、より専門性を磨く人材育成に注力すべきと考えるが、市の見

解を伺う。

答弁…人事異動は、自己申告書などで希望を把握しつつ、職員の適性、能力、経験などを勘案し、3年から5年をめどに異動を行っている。異動に際しては、市民サービスの低下を招かぬよう、職場内での研修等を通して専門的な知識や技能の継承に努めている。また、地方分権や権限移譲により新たな業務も発生しており、時代のニーズに即した人事管理を進めていく。  
安定した市民サービスを提供するため、今後も職員一人ひとりの意識と能力の向上に努めていく。

通学路交通安全プログラムについて

北野 ひとし

質問…歩行者事故件数は、小学生が圧倒的に多く、大垣市通学路安全プログラム（PDC A）<sup>※1</sup>の取り組みは重要である。継続的に取り組むためにはPDC A<sup>※1</sup>を回すことや安全点検の教育訓練実施や、多くのチャンネルで問題を抽出する仕組みが重要。スビードバンブ<sup>※2</sup>等新しい改善にチャレンジする事も検討されたい。本市の考えを問う。

※1 PDC A（計画）JDO（実行）JCHECK（評価）JACT（改善）の頭文字。仕事をどのような過程で回すかが効率よく業務を行えるようになるかという理論。

※2 車のスピードが出すぎないように減速させる道路上の障害、徐行帯、道路上の段差、減速バンブのこと。

答弁…本市では、通学路交通安全プログラムを策定しており、毎年、警察、道路管理者などが連携し、各学校から申請のあった危険箇所を合同点検を行っている。また、通学路の整備計画を作成し、関係機関において安全対策を実施しており、その結果をもとに大垣市通学路安全対策推進会議で通学路対策整備計画を作成し、具体的な安全対策の実施につなげるなど、PDC Aサイクルを確実に運用しながら、通学路における児童生徒の安全確保に努めている。

車輛の速度抑制をはじめとした安全対策は、現場や地域の状況を踏まえ、合同点検や大垣市通学路安全対策推進会議等で、最も有効で実現可能な手段を講ずるよう、警察や関係機関と協議し、児童生徒の安全確保を最優先に進めていく。

通学路点検の様子



◆一般質問の録画放映 (ケーブルテレビ)

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会(3月、6月、9月、12月)の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。

今回の放映は、9月中旬(一般質問が行なわれた週の土・日)を予定しています。

委員 中山 和昭
副委員長 中田 ゆみこ
委員 長谷川 つよし
委員 北野 ひとし
委員 空野 英明
委員 中田 としや
委員 近沢 正

平成二十九年度 編集委員の紹介

市民の皆さまのご意見やご要望をいただきながら、よりよい紙面づくりに努めてまいります。

功績をたたえ 永年在職議員表彰を伝達

去る6月5日、定例会の開会前に全国市議会議長会の永年在職議員表彰の伝達があり、岩井議長から表彰状が手渡されました。

- ◇特別表彰 議員30年以上
◇一般表彰 議員10年以上

- 林 新太郎 議員
山口 和昭 議員
日比野 芳幸 議員
田中 孝典 議員
粥川 加奈子 議員

意見書

第2回定例会で可決された意見書は次のとおりです。意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書

昨年末に成立した「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」の衆参内閣委員会における附帯決議では、ギャンブル等依存症の実態把握のための体制整備やギャンブル等依存症患者の相談体制と臨床医療体制の強化などを政府に求めている。政府はこれを受け、ギャンブル等依存症対策推進関係閣僚会議において検討を進め、本年3月には論点整理を発表したところである。

これまでも、ギャンブル等依存症による自己破産、家庭崩壊、犯罪などの深刻な問題があったにもかかわらず、政府はその実態を十分に把握して来なかった。

政府においては、ギャンブル等依存症の実態把握を進め、論点整理等を踏まえたギャンブル等依存症対策基本法の制定などの抜本的強化に取り組むことを強く求める。

- 1. 公営ギャンブル等は、所管省庁が複数にまたがり、しかも規制と振興の担当省庁が同一であるため、一元的な規制が困難な側面があり、ギャンブル等依存症対策の十分な実施が望めない。そのため、ギャンブル等依存症対策の企画立案、規制と監視を一元的に行う独立組織の設置を検討すること。
2. 3月の論点整理等を踏まえ、ギャンブル等依存症対策の具体的な対策や実施方法を早急に検討すること。
3. アルコール依存症や薬物依存症に関しては、それぞれに施策が進められている。ギャンブル等依存症対策の法制化を進める中で、こうした取り組みと合わせ、さらに依存症対策の深化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年6月19日

大垣市議会

平成29年第2回臨時会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

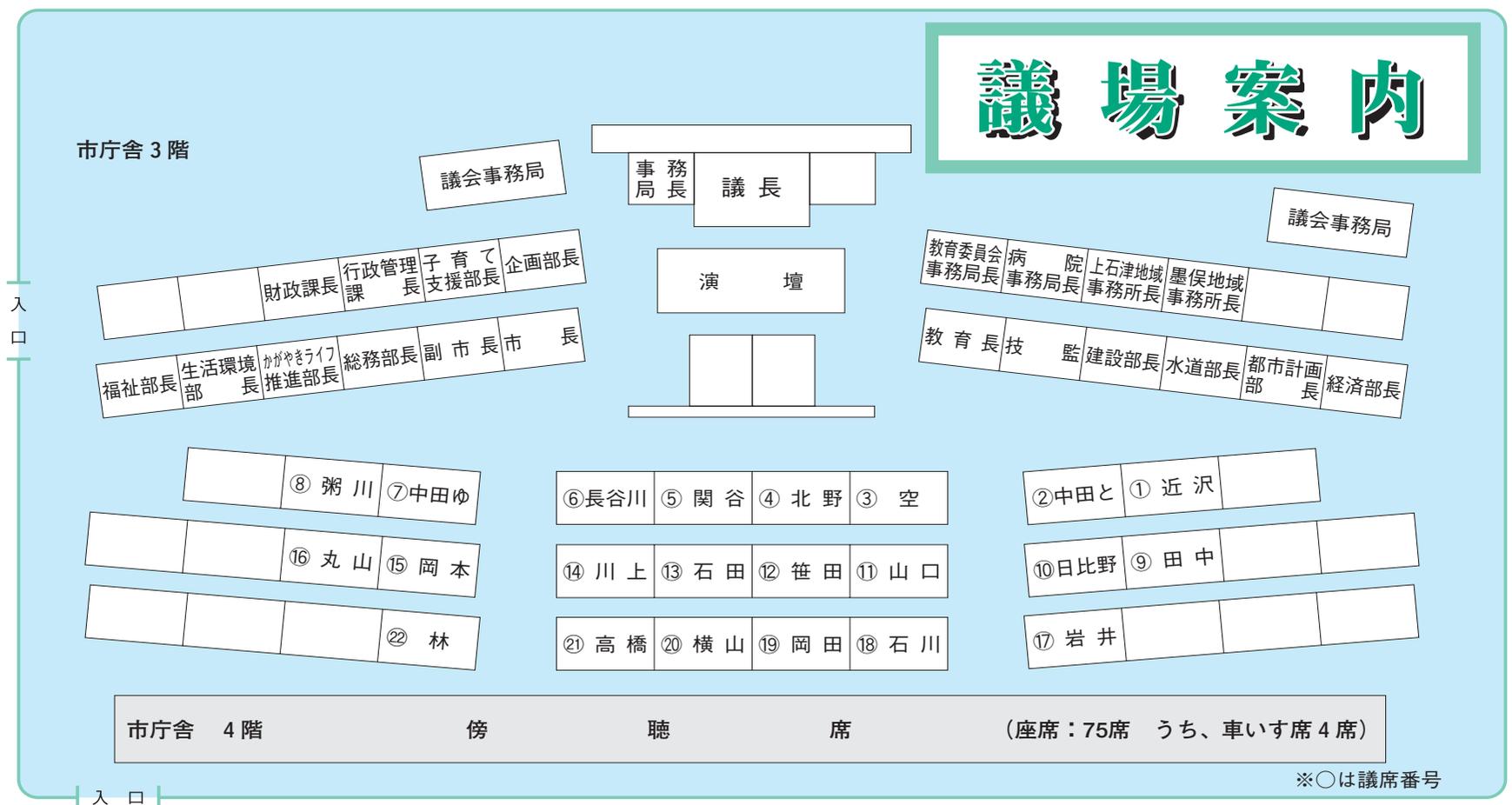
Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案番号, 議案名. Contains 4 rows of legislative items.

平成29年第2回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案番号, 議案名. Contains 7 rows of legislative items.

議場案内



※○は議席番号